



杉浦 康憲 議員

「小中学校のトイレの洋式化」について

問 市内の学校トイレの洋式化率は。

答 トイレの洋式化率は、33.2%である。

問 今後の洋式化の時期についての考えは。

答 基本的な考え方として、

校舎大規模改造工事のときを考えている。高取小は、校舎大規模改造工事の設計業務に着手中である。吉浜小は、来年度設計業務に着手する予定。港小、高浜中、南中は、大規模改造工事のときではなく、前倒しを考えている。

問 体育館は災害時に避難所となるが、体育館周辺の「多目的トイレ」の設置状況は。

答 設置されていないのは高取小、港小、南中になる。高取小は大規模改造工事時に、港小と南中は体育館近くの屋外トイレの新設あるいは改修時に、それぞれ「多目的トイレ」を整備していきたいと考えている。

問 子どもたちがトイレに行きたくない理由

に、「汚い」、「臭い」、「暗い」という意見がある。どこまでの改修を想定しているか。

答 便器の洋式化だけではなく、ドライ式の床へ改修して衛生面の向上を図るほか、壁や天井、手洗いなどを一新する。

「水泳授業の民間プール委託」について

問 今年は、天候のすぐれない日が続いた。高浜小は民間プール委託が始まったが、そのほかの学校の水泳授業の状態はどうであったか。

答 雨天が続いたため、予定時間数の約21%が中止となった学校もあった。

問 今後、他校への展開の予定はどのように考えているか。

答 高取小では予定を前倒しして、令和2年度から民間プールを活用した水泳の授業に移行していく。その後、令和3年度に南中、令和5年度に港小が移行していく予定である。なお、吉浜小と翼小は、現在のプールが比較的新しいため、現段階では移行の予定に入れていない。また、高浜中も部活動の関係があつて、移行はしない予定である。

道路行政について



岡田 公作 議員

問 道路に関する不具合の通報件数と主な内訳は。

答 平成30年度の通報件数は317件。主な内訳は舗装陥没破損等80件、側溝蓋の破損による交換等54件、側溝内の土砂堆積に伴う浚渫等42件、草刈等34件。

問 交通事故発生の未然防止で、定期的に街を巡回し、不具合を発見する等の措置は。

答 道路等の不具合対応等で、現場に向かう道中にて他の道路施設の損傷等を確認することに加え、市内の各グループから情報を収集し、道路施設の不具合の早期発見に努めている。

問 Fix My Streetを導入する可能性について。(Fix My Street:道路の不具合や街灯の故障など、街の問題を写真に撮って、位置情報とともにレポートを投稿する仕組みのアプリ)

答 通報アプリの導入については、迅速な対応を目指す有効な手段の1つであることは認識している。Fix My Street以外にも同様な機能を

備えたアプリが存在することに加え、本市が導入している「総合型GIS」にもオプション機能となるが、対応が可能。今後、近隣市の動向や導入自治体の先進事例等を注視しながら、調査研究を行う。

可燃ごみの処理について

問 可燃ごみに関する苦情件数と主な内訳は。

答 平成30年度の苦情件数は25件で、可燃ごみ収集日以外や早出しのごみ出しが13件、指定ごみ袋以外のごみ出しが7件、可燃ごみを猫やカラスが散らかす散乱被害が3件、可燃ごみと資源ごみの混入が1件、指定袋にびん・缶等、資源ごみのみを出したものが1件。

問 可燃ごみの散乱による不具合に対しては、どのような対応や改善策が有効か。

答 可燃ごみを猫やカラスが散らかす散乱被害に関しては、それぞれの可燃ごみステーションによりさまざまな制約や条件が異なり、個々の案件ごとに地権者や地域の方々など関係者と調整し、拠点に合ったサイズのカゴやごみネットの設置を進めていくことが有効。